

おおはた章宏 代議士より  
バトンを引き継ぎ  
次期衆議院議員選挙に立候補予定

# 浅野 さとし

新しい力で  
未来を拓く

競争から協創へ

「浅野さとし」ってどんな人？

常に『目標』を持って取り組む！



浅野さとしの考えを知る  
コラム



## 哲流 サトシイズム

第2回

「青年期」

常に「目標」を持つことの大切さを知る

高校に入る頃、どうしてもオートバイを手に入れたくなった。しかし、お目当てのオートバイは総額ウン十万円。当然そんなお金はない。でも簡単に諦める訳にはいかない。

部活後、ある物流企業の倉庫仕分けのアルバイトを始めた。18時から22時まで、倉庫内で200kg以上にもなるコンテナのトラック積み降ろし作業である。これを週5日、3ヵ月続けた。憧れのオートバイを手に入れたいという思いは、何よりも強いものだった。

サッカー部の練習後、部活でクタクタに疲れた体で送迎バスに乗り込むと、すぐにでも「逃げ出したい」という思いに襲われる。それでも、「何が何でも憧れのバイクを手に入れる」という気持ちで続けた。結局3ヵ月後に続いていた高校生は、私ともう1人だけだった。苦しみながらも、耐え抜いて手に入れたお給料は約15万円。それを頭金にバイクを購入した。

私は幼少期から研究者になるという「目標」があった。高校2年の時、ハワイのマウナケア山頂にある日本のすばる望遠鏡を見学した。山頂から見た星空の素晴らしさに身

もだえするほど感動し、大学では宇宙に関する研究をしようと思った。その後、人工衛星に搭載するセンサー装置の研究を行ない、その経験を日立製作所で担当した自動車向けセンサー製品の研究開発に活かすことができた。また、日立製作所に入らなければ、今こうして政治の道を歩む事はなかったかもしれない。人生とはどこにどのようなチャンスが潜んでいるか分からない。ただ、一つ言えることは「目標」に向かって努力してこなければ、そんなチャンスは得られなかったということだ。

もう一つ、私の両親は、中学卒業以降、ほとんど私の行動に口出しをしなかった。当時は、諦められたのかと考えた事もあったが、今考えてみると、それは子どもの事を信じて見守るという親ならではの愛情だったのだと思う。

「目標」に向け努力する私を見守ってくれた両親に心から感謝したい。

浅野 さとし



浅野さとしと友達になろう  
[satoshi.asano.564](https://www.facebook.com/satoshi.asano.564)



浅野さとしをフォローしよう  
[Asano\\_Satoshi](https://twitter.com/Asano_Satoshi)

